

# 第 28 回常民大学合同研究会

研究主題 ■ 常民大学と地域文化

— 後藤民俗思想史の検証と発展 —

と き 2013 年 10 月 26 日（土）・27 日（日）

ところ ホテルラングウッド 5F 光の間

（日暮里駅前）

主 催 常民大学合同研究会運営委員会

遠山常民大学（長野県）

遠州常民文化談話会（静岡県）

於波良岐常民学舎（群馬県）

立川柳田国男を読む会（東京都）

鎌倉柳田学舎（神奈川県）

後 援 地域文化研究会

## 研究主題 ■ 常民大学と地域文化

### —後藤民俗思想史の検証と発展—

ただここでひとつだけわたしにいうことは、こうした方法(後藤先生が、『遠山物語』で示したく自分史—村史—日本史—人類史)のなかで記述する(自己認識)の方法は、そのムラやマチに生まれ育ち生活しているいわゆる「在地」の人びとにとって、ひとつの“参考”になる異なった眼であることだけは確かといえる。そんな考えがわたしにはある。それをわたしは、柳田国男の次の言葉に教えられたのであった。

かういふ際に於て新たに都市に入つて住んで居る兄弟姉妹の、同情ある回顧は価値がある。少なくとも銘々の郷里に対しては、彼らは益友であり又事情通である。鮮明なる少年の日の記憶を保持しつゝ、深き好奇心を最近の変化に注ごうとして居る。現在故郷の人々を悩ませて居る疑問は、曾て彼らが懐いて未だ完全に解き能はざるものと同じである。素より結論としては多くを期待し得られぬが、少なくともその第二種の観察は利用すべきものであつた。個々の農村の生活に仮に補ふべき弱点があるとすれば、それを先ず指摘し又批判するのに、彼等以上に適當なる者は無かつた筈である。

(『都市と農村』)

さてわたしのこうした方法は、たんにわたしの生まれ育つた「遠山」にのみ生かされるというものではもちろんないはずである。

己の「自己認識」と村の「普遍性」を獲得したいと希求し、明日の確固たる生活と思想をと願う人びとであれば、A県B村の人にも、Y県Z町の人にも、可能なはずである。

いやできればそうした営みが、いたるところの、さまざまな人びとによってはじめられんことをひそかに祈って営まれたのが、このわたしのささやかな「ムラの思想史」の仮説的方法でもあったのだ。

後藤総一郎『遠山物語』

「終章「ムラの思想史」の理念と方法」より

そして、その四年後の1983年夏、「野の学」のみなさんが一同に会して、「**学び**」の報告と現在を語りあい考えあつて、より確かな**学び**を通しての**個と共同性**を紡ぎ出す」(第一回パンフの言葉)ために集つた「第一回 6常民大学等合同研究会」が遠山で開かれてから、今年で30年。

改めて《生活者の学び》の原点を確認すると同時に、柳田学と後藤民俗思想史の現代における可能性を考えます。

## 第1日 10月26日(土)

12:30 ■受付開始

13:30 ■開会

司会 久保田 宏 (鎌倉柳田学舎)

挨拶 山口 茂記 (立川柳田国男を読む会)

13:40 ■基調提案

小田 富英 (常民大学合同研究会運営委員)

14:00 ■記念講演

「常民大学と地域文化

—戦後社会教育史からみた位置と意義—」

草野 滋之氏 (千葉工業大学准教授)

15:00 ■休憩

15:20 ■研究報告

「伊能嘉矩と遠野」

菊池 健 (遠野物語研究所運営委員)

16:00 「水窪の民俗調査から」

大石 龍 (遠州常民文化談話会)

16:40 「平岩米吉と柳田国男 昭和8年ニホン

オオカミ生存説をめぐる」

松尾 達彦 (鎌倉柳田学舎)

17:20 ■フィールド説明

松尾 達彦 (鎌倉柳田学舎)

17:30 ■まとめ

高橋 寛治 (常民大学合同研究会運営委員)

18:00 ■交流会 (会場 2F 孔雀の間)

司会 小田 富英 (常民大学合同研究会運営委員)

20:30 終了予定

## 第2日 10月27日(日)

8:00 ■ 運営委員会

9:00 ■ フィールドワーク

柳田国男『故郷七十年』ゆかりの地を巡る  
— 谷中墓地から上野図書館 —

松尾 達彦 (鎌倉柳田学舎)

9:00 JR 日暮里駅南口ホテルラングウッド前集合

### フィールドワークコース

谷中墓地甲 11 号 1 側

矢田部家墓所 良吉・雄吉碑文



天王寺墓地 牧野富太郎墓所



五重塔跡



谷中墓地甲 6 号 11 側 柳田直平・琴子墓所



乙 8 号 10 側 田中芳男墓所



国際子ども図書館 (上野図書館)



解散 12 時・上野公園口

## ◆参加要項◆

**日 時** 2013年10月26日(土)・27(日)

**会 場** ホテルラングウッド 5F光の間  
〒116-0014 荒川区東日暮里 5-50-5  
TEL 03-3803-1234  
<交流会>2F孔雀の間

**費 用** 参加費 3,000円  
交流会費 7,000円  
宿泊 1泊朝食込み 11,010円

**申 込** 9月30日までに電話またはFAXでお申し込みください。

### 申込先および問い合わせ先

〒248-0024 鎌倉市稲村ガ崎 1-15-17  
TEL/FAX 0467 (24) 3810 曾原糸子  
曾原携帯 08058908756・松村携帯 08053769614

## ◆会場案内図◆